

平成23年度

武蔵野市予算の概要

地域の力を育み、自治の未来を拓く予算

平成23年2月

武蔵野市

目 次

1	編成方針	1
2	予算のポイント	1
3	予算規模	2
	(1) 一般会計予算規模	2
	(2) 会計別予算規模	3
	(3) 水道事業会計予算規模	4
4	予算の状況（一般会計）	5
	(1) 歳入の概要	6
	(2) 歳出の概要	9
	(3) 基金と市債	13
5	複数年度にわたる建設事業	15
6	特徴ある事業	21
	1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実	23
	2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実	27
	3 持続可能な環境共生都市づくり	31
	4 活力ある都市を目指して	35
	5 安全・安心なまちづくり	36
	6 市民文化の創造へ向けて	38
	7 新たなまちづくりの時代へ	40
	8 都市のリニューアルの推進	44
	9 市民との協働時代へ向けての取組み	46
	10 健全な財政運営と市役所改革の推進	48

※計数については変わることがあります。

1 編成方針

平成23年度予算は、「地域の力を育み、自治の未来を拓く予算」と位置付け、最終年度となる第四期長期計画・調整計画の事業を着実に実行するため、限られた財源を計画的、効率的に配分することを基本に編成した。

また、効率的な行政経営を目指し健全な財政運営を維持するため、事務事業及び補助金の見直しを継続的に実施したほか、経常経費では前年度予算額の1%を減額した額を限度とする枠配分方式による予算編成を引き続き全庁で試行するなど、内部努力による経費の節減を行った。

2 予算のポイント

◎ 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

健康福祉総合計画／療育推進事業の支援体制の強化／予防接種公費助成

◎ 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

武蔵野プレイス開館／小中学校空調設備設置事業／子ども協会立保育園運営事業

◎ 持続可能な環境共生都市づくり

新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業／緑と水のネットワーク事業

◎ 活力ある都市を目指して

商店街活性化のための企画提案型補助金の創設／農業振興施策の継続実施

◎ 安全・安心なまちづくり

繁華街における安全・安心改善事業／災害用トイレの整備／住み替え支援事業

◎ 市民文化の創造へ向けて

平和啓発事業／国民体育大会・全国障害者スポーツ大会推進事業

◎ 新たなまちづくりの時代へ

景観道路事業／吉祥寺方式物流対策事業／武鉄中付第1～3号線整備事業

◎ 都市のリニューアルの推進

下水道施設長寿命化計画策定／上水道耐震化工事

◎ 市民との協働時代へ向けての取組み

市民活動促進基本計画（仮称）の策定／八幡町コミュニティセンターの建替え

◎ 健全な財政運営と市役所改革の推進

第五期基本構想・長期計画策定／事務事業見直し・補助金見直し

3 予算規模

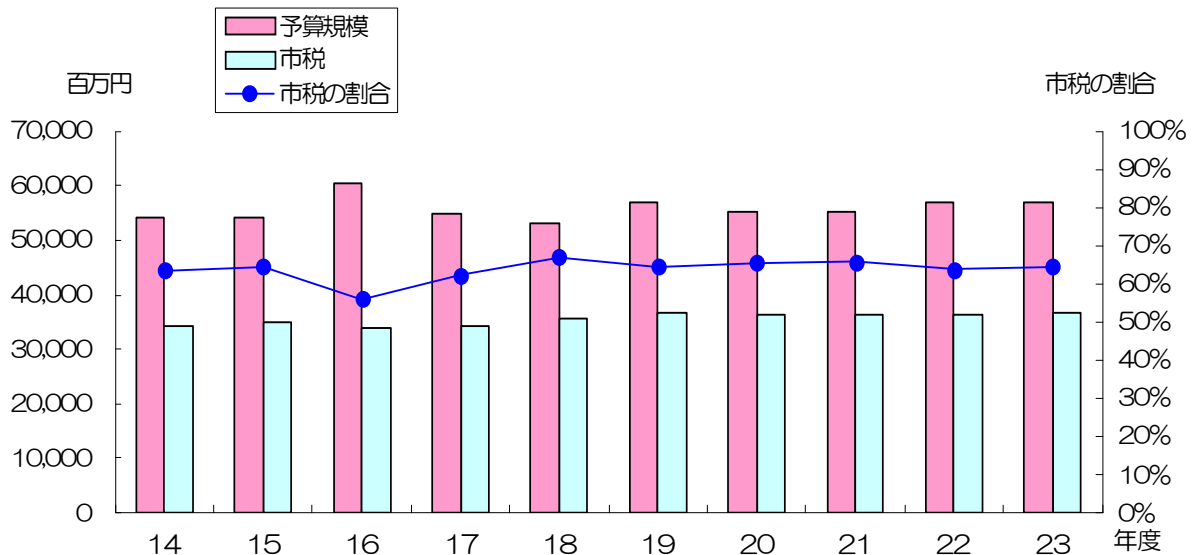
一般会計の予算規模は、小中学校空気調和設備設置工事やひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営、給食調理業務などの委託料が増加したものの、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業費や職員人件費の減などにより、前年度比0.2%、1億1,000万円の減、総額568億3,000万円となった。

(1) 一般会計予算規模

(単位：千円)

	平成23年度	平成22年度	比較	増減率 (%)	
				23年度	22年度
一般会計	56,830,000	56,940,000	△ 110,000	△ 0.2	3.2

一般会計予算規模と市税の推移



(単位：百万円)

年 度	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
予算規模	54,200	54,300	60,300	54,800	53,100	56,950	55,280	55,200	56,940	56,830
伸び率	1.7	0.2	11.0	△ 9.1	△ 3.1	7.3	△ 2.9	△ 0.1	3.2	△ 0.2
市 税	34,364	35,001	33,700	34,129	35,608	36,670	36,268	36,257	36,341	36,622
伸び率	△ 0.6	1.9	△ 3.7	1.3	4.3	3.0	△ 1.1	0.0	0.2	0.8
市税の割合	63.4%	64.5%	55.9%	62.3%	67.1%	64.4%	65.6%	65.7%	63.8%	64.5%

※ 平成16年度の予算規模は減税補てん責借換債を含んだ金額

〔主な増減内容〕

- 増** ○小中学校空気調和設備設置工事
 ○ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営
 ○子ども手当支給事業

- 減** ○ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業
 ○職員人件費
 ○桜野小学校増築工事

(2) 会計別予算規模

一般会計に特別会計を合わせた武蔵野市全体の予算規模は、総計で838億5,493万円、一般会計から特別会計への繰出金及び特別会計から一般会計への繰出金を除いた純計では786億6,019万円となった。

(単位：千円)

区分	平成23年度	平成22年度	比較	増減率 (%)	
				23年度	22年度
一般会計	56,830,000	56,940,000	△ 110,000	△ 0.2	3.2
下水道事業会計	2,818,620	3,579,486	△ 760,866	△ 21.3	37.8
国民健康保険事業会計	11,682,060	11,372,282	309,778	2.7	△ 0.6
老人保健(医療)会計	0	22,772	△ 22,772	皆減	△ 22.2
後期高齢者医療会計	2,861,785	2,738,432	123,353	4.5	3.7
介護保険事業会計	9,662,468	9,004,034	658,434	7.3	3.7
総計	83,854,933	83,657,006	197,927	0.2	3.8
純計	78,660,185	79,009,985	△ 349,800	△ 0.4	3.4

【参考】

(単位：億円)

区分	平成23年度	平成22年度	比較	増減率 (%)	
				23年度	22年度
国の一般会計	924,116	922,992	1,124	0.1	4.2
地方財政計画	825,054	821,268	3,786	0.5	△ 0.5
東京都の一般会計	62,360	62,640	△ 280	△ 0.4	△ 5.1

※ 地方財政計画：毎年度の地方公共団体の歳入及び歳出総額を見込む計画

[特別会計の主な増減理由]

下水道事業会計

合流式下水道改善事業の土地購入費の減などにより、歳出規模は前年比で減となった。

国民健康保険事業会計

歳入では、前期高齢者交付金や共同事業交付金が増加したものの、国民健康保険税の減少を見込んだ。歳出では、給付費のうち高額レセプト分が増加するのに伴い、共同事業拠出金が増加したほか、後期高齢者医療制度に対する支援金、介護保険に対する納付金が増加した。

老人保健（医療）会計

老人保健（医療）会計は平成22年度末で廃止となった。

後期高齢者医療会計

被保険者数及び一人当たりの給付費が増加するのに伴い、後期高齢者医療広域連合に対する分賦金が増加した。

介護保険事業会計

歳入では、給付費の増に伴い、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金の増加を見込んだ。歳出では、平成22年度の施設整備の影響で一人当たりの給付費が伸び、要介護認定者数も増加を続けるのに伴い、給付費が増えた。

(3) 水道事業会計予算規模

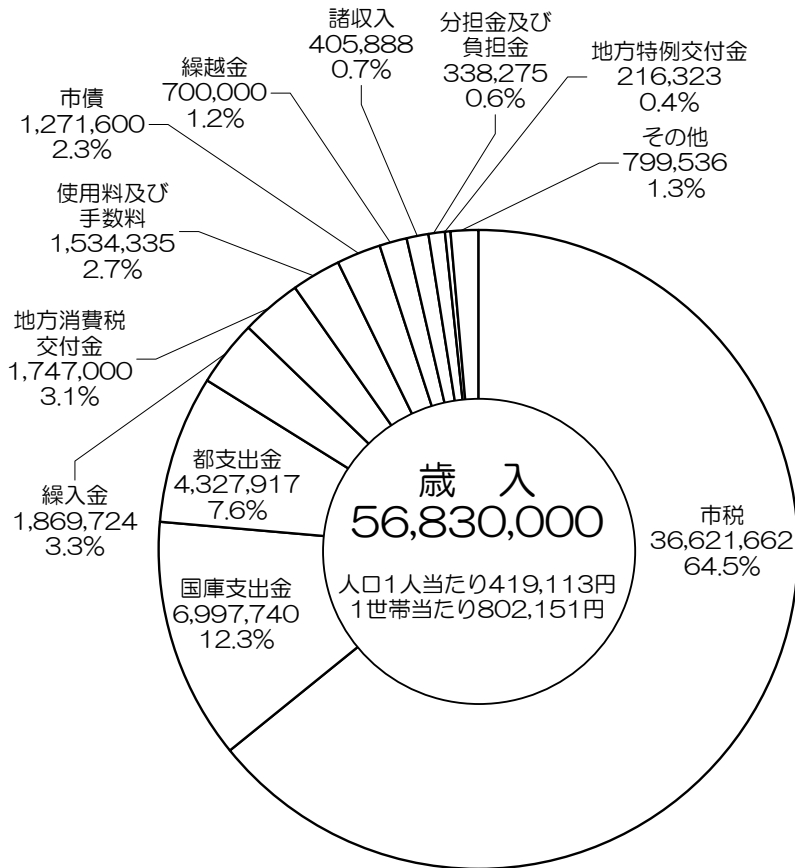
(単位：千円)

区 分	平成23年度	平成22年度	比較	増減率 (%)	
				23年度	22年度
収益的収入	3,701,765	3,728,421	△ 26,656	△ 0.7	4.8
収益的支出	3,669,511	3,690,109	△ 20,598	△ 0.6	4.1
資本的収入	57,390	16,770	40,620	242.2	△ 94.9
資本的支出	1,023,760	1,068,515	△ 44,755	△ 4.2	△ 33.0

4 予算の状況（一般会計）

平成23年度 歳入予算構成比

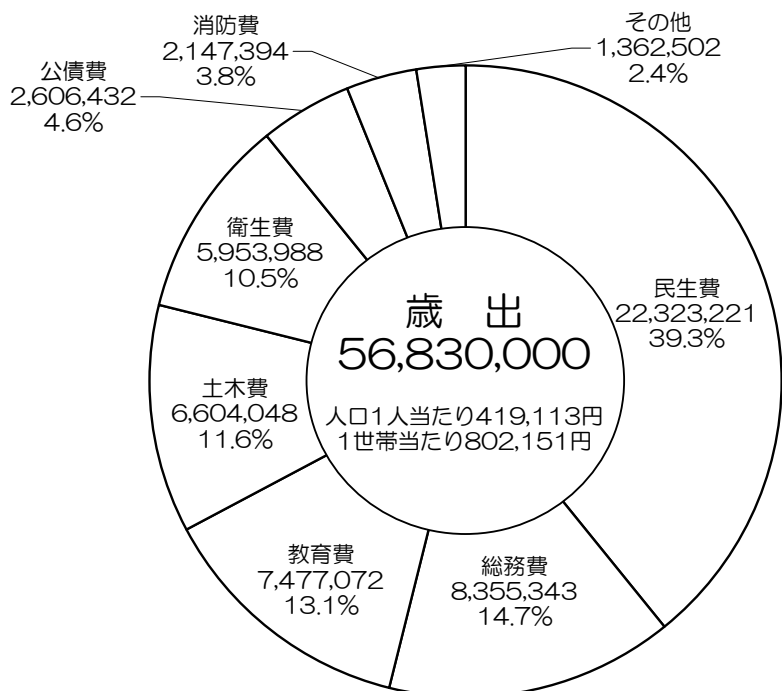
[単位：千円]



【その他の内訳】

利子割交付金	210,000	0.4%
地方譲与税	191,000	0.3%
財産収入	133,328	0.2%
自動車取得税交付金	119,008	0.2%
配当割交付金	78,000	0.1%
株式等譲渡所得割交付金	51,000	0.1%
交通安全対策特別交付金	17,000	0.0%
地方交付税	100	0.0%
寄附金	100	0.0%

平成23年度 歳出予算構成比



【その他の内訳】

議会費	552,564	1.0%
商工費	470,625	0.8%
諸支出金	143,966	0.2%
予備費	100,000	0.2%
農業費	55,274	0.1%
労働費	40,073	0.1%

※ 平成23年1月1日現在の人口（135,596人）・世帯数（70,847世帯）による

(1) 歳入の概要

○市税については、個人所得の低迷による個人市民税の減があるものの、法人市民税の増が見込まれるため、前年度予算額に比べ約2億8,100万円(0.8%)の増となる。

○国庫支出金については、生活保護費負担金、子ども手当負担金の増などにより、前年度予算額に比べ約8億3,400万円(13.5%)の増となる。

○各種基金等からの繰入金が前年度予算額に比べ約7億4,000万円(28.4%)の減、市債が約8億2,100万円(39.2%)の減となる。

(単位：千円)

区 分 (款)	平成23年度 予算額 (A)	平成22年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C) / (B)	構成比率 (%)	
					23年度	22年度
1 市 税	36,621,662	36,341,131	280,531	0.8	64.5	63.8
2 地 方 譲 与 税	191,000	202,050	△ 11,050	△ 5.5	0.3	0.4
3 利 子 割 交 付 金	210,000	178,000	32,000	18.0	0.4	0.3
4 配 当 割 交 付 金	78,000	65,000	13,000	20.0	0.1	0.1
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	51,000	37,000	14,000	37.8	0.1	0.1
6 地 方 消 費 税 交 付 金	1,747,000	1,737,000	10,000	0.6	3.1	3.1
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	119,008	80,010	38,998	48.7	0.2	0.1
8 地 方 特 例 交 付 金	216,323	235,133	△ 18,810	△ 8.0	0.4	0.4
9 地 方 交 付 税	100	100	0	0.0	0.0	0.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	17,000	17,000	0	0.0	0.0	0.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	338,275	349,856	△ 11,581	△ 3.3	0.6	0.6
12 使 用 料 及 び 手 数 料	1,534,335	1,544,950	△ 10,615	△ 0.7	2.7	2.7
13 国 庫 支 出 金	6,997,740	6,163,318	834,422	13.5	12.3	10.8
14 都 支 出 金	4,327,917	3,938,262	389,655	9.9	7.6	6.9
15 財 産 収 入	133,328	199,792	△ 66,464	△ 33.3	0.2	0.4
16 寄 附 金	100	100	0	0.0	0.0	0.0
17 繰 入 金	1,869,724	2,610,165	△ 740,441	△ 28.4	3.3	4.6
18 繰 越 金	700,000	700,000	0	0.0	1.2	1.2
19 諸 収 入	405,888	448,833	△ 42,945	△ 9.6	0.7	0.8
20 市 債	1,271,600	2,092,300	△ 820,700	△ 39.2	2.3	3.7
計	56,830,000	56,940,000	△ 110,000	△ 0.2	100.0	100.0

○市税の状況

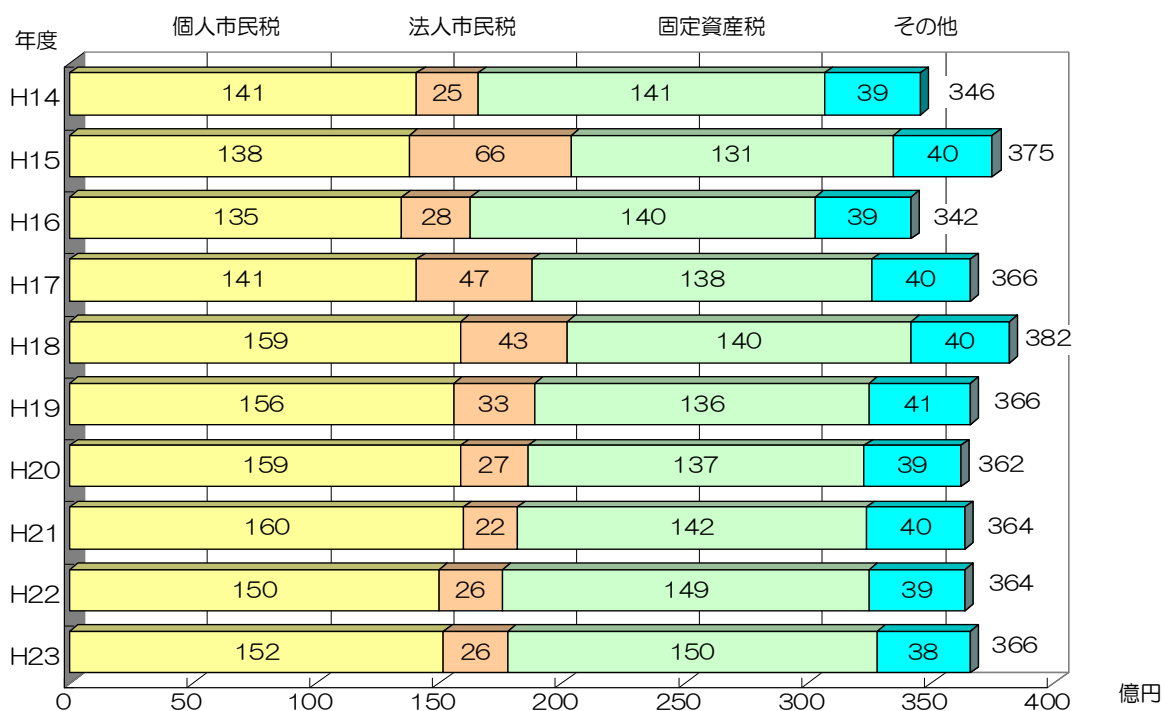
平成23年度の市税収入は約366億2,200万円、前年度当初予算額に比べ約2億8,100万円（0.8%）の増となった。

個人市民税は、大型マンション完成に伴う転入による増収はあるものの、個人所得の低迷により減を見込む。法人市民税については、平成22年度からの回復傾向により増の見込みである。固定資産税は、土地については大規模マンション用地の非住宅用地から住宅用地への変更による減、家屋については新增築・滅失家屋の異動による増、償却資産については、景気低迷による設備投資の縮小により減を見込む。

（単位：千円）

区分（税目）	平成23年度 予算額	平成22年度 予算額	比較	増減率（%）	
				23年度	22年度
市民税 個人	15,170,800	15,523,200	△ 352,400	△ 2.3	△ 2.7
市民税 法人	2,571,800	1,870,700	701,100	37.5	△ 10.5
固定資産税	14,951,100	14,947,800	3,300	0.0	5.3
軽自動車税	36,060	36,130	△ 70	△ 0.2	1.4
市たばこ税	924,001	950,000	△ 25,999	△ 2.7	△ 4.0
入湯税	1	1	0	0.0	0.0
事業所税	567,000	622,000	△ 55,000	△ 8.8	△ 1.9
都市計画税	2,400,900	2,391,300	9,600	0.4	1.4
計	36,621,662	36,341,131	280,531	0.8	0.2

市税額の推移



※ 平成21年度までは決算額、平成22年度は決算見込額、平成23年度は当初予算額である。

〔その他の主な費目の増減内容〕

利子割交付金

預貯金の利子等に課税される都民税利子割から、市町村の収入割合に応じて交付される。

利子所得は一律20%課税され、このうち15%が国税、5%が地方税となる。地方税として都道府県に収納される利子割額の3/5が、市町村にそれぞれの都道府県民税の収入割合に応じて交付されるものであり、3,200万円、18.0%の増となる。

地方特例交付金

臨時的な財源措置として国から交付されるもので、児童手当及び子ども手当特例交付金及び減収補てん特例交付金がある。

子ども手当等の財源措置である児童手当及び子ども手当特例交付金、住宅借入金等税額控除による個人市民税の減収を補てんする減収補てん特例交付金、自動車関連諸税の減税に伴う自動車取得税交付金の減収補てん特例交付金があり、全体としては約1,900万円、8.0%の減となる。

国庫支出金

国から市への支出金で、法令により負担義務を負う負担金、奨励的、財政援助的に交付される補助金、本来国が行う事務を便宜上行った場合の委託金がある。

扶助費の歳出増に伴う生活保護費負担金、障害者自立支援給付費負担金、子ども手当負担金の他、安全・安心な学校づくり交付金の増などにより、約8億3,400万円、13.5%の増となる。

都支出金

都から市への支出金で、国庫支出金同様、負担金、補助金、委託金がある。

国勢調査事務委託金、参議院議員選挙委託金等の減があるものの、子宮頸がん等ワクチン接種促進事業補助金、小中学校空気調和設備整備事業補助金などの増より、約3億9,000万円、9.9%の増となる。

繰入金

市の貯金である基金から取り崩して事業に充てる基金繰入金と、特別会計から入る特別会計繰入金がある。

基金繰入金については、学校施設整備基金繰入金等の増があるものの、公共施設整備基金繰入金、財政調整基金繰入金の減などがあり、繰入金全体として約7億4,000万円、28.4%の減となる。

市債

市の借金にあたるもの。投資的経費等に必要ないし財源を調達するために借入れを行う。

公園建設事業債などの増があるものの、ひと・まち・情報創造館 武蔵野プレイス建設事業債が減になり、全体では8億2,100万円、39.2%の減となる。

(2) 歳出の概要

- 武蔵野市行財政集中改革プランや職員定数適正化計画等に基づき、事務事業及び補助金の廃止・縮減を行うなど経費節減を図った。また、特別職報酬等審議会の答申に基づき、特別職の給与等を見直した。
- 經常経費は前年度予算額の1%を減額した額を要求限度とした。ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設工事費や職員人件費の減などにより、総額で1億1,000万円の減となった。

①目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としている。

(単位：千円)

区 分 (款)	平成23年度 予算額 (A)	平成22年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)	
					23年度	22年度
1 議会費	552,564	413,657	138,907	33.6	1.0	0.7
2 総務費	8,355,343	8,954,374	△ 599,031	△ 6.7	14.7	15.7
3 民生費	22,323,221	20,766,443	1,556,778	7.5	39.3	36.5
4 衛生費	5,953,988	5,634,892	319,096	5.7	10.5	9.9
5 労働費	40,073	38,123	1,950	5.1	0.1	0.1
6 農業費	55,274	55,318	△ 44	△ 0.1	0.1	0.1
7 商工費	470,625	517,868	△ 47,243	△ 9.1	0.8	0.9
8 土木費	6,604,048	6,343,151	260,897	4.1	11.6	11.1
9 消防費	2,147,394	2,326,274	△ 178,880	△ 7.7	3.8	4.1
10 教育費	7,477,072	8,999,834	△ 1,522,762	△ 16.9	13.1	15.8
11 公債費	2,606,432	2,599,370	7,062	0.3	4.6	4.6
12 諸支出金	143,966	190,696	△ 46,730	△ 24.5	0.2	0.3
13 予備費	100,000	100,000	0	0.0	0.2	0.2
計	56,830,000	56,940,000	△ 110,000	△ 0.2	100.0	100.0

[主な費目の増減内容]

総 務 費

庁舎管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員に要する経費など市の一般的な管理に必要な経費

八幡町コミュニティセンター建設事業9,400万円、市庁舎給排水管等改修工事2億8,000万円、市議会議員選挙7,400万円などの増はあるものの、職員退職手当7億4,700万円、市民雇用創出事業7,600万円、国勢調査9,300万円、参議院議員選挙6,100万円の減などにより、5億9,900万円、6.7%の減となった。

民生費

社会福祉、児童福祉、生活保護など、一定水準の生活を保障するために必要な経費

人件費 2 億6,400万円、児童手当9,400万円、介護保険施設整備費補助金8,600万円、学童クラブ事業施設改修6,600万円、社会福祉法人武蔵野運営費補助金5,500万円の減があるものの、子ども手当支給事業費 5 億7,500万円、国民健康保険事業会計繰出金 3 億6,200万円、生活保護法による扶助費 1 億6,700万円、子ども協会立保育園（千川、北町）運営事業費 5 億400万円の増などにより、15億5,700万円、7.5%の増となった。

衛生費

保健衛生や環境対策、ごみ処理などに必要な経費

健康診査委託料4,800万円、武蔵野健康づくり事業団運営費補助金1,100万円の減があるものの、クリーンセンター焼却・粗大施設改修工事費 1 億5,600万円、子宮頸がん等ワクチン接種委託料 1 億3,800万円、新武蔵野クリーンセンター（仮称）建設事業費9,600万円の増などにより、3 億1,900万円、5.7%の増となった。

土木費

道路、公園、市営住宅の維持・整備などに必要な経費

自転車駐車場建設負担金 2 億7,200万円、都市計画道路 7・6・1 号線事業用地購入費 1 億2,100万円などの減があるものの、公園用地購入費 4 億9,900万円、武鉄中付電線共同溝設置委託料 1 億5,500万円、道路新設改良工事費 1 億5,200万円、景観道路事業費 1 億1,700万円の増などにより、2 億6,100万円、4.1%の増となった。

教育費

学校教育や生涯学習などに必要な経費

小中学校空気調和設備設置工事費 9 億4,700万円、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス管理運営委託料 4 億3,600万円、総合体育館改修工事費 2 億900万円の増があるものの、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設工事費26億9,500万円、桜野小学校増築工事費 2 億5,300万円の減などにより、15億2,300万円、16.9%の減となった。

公債費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

過年度分の償還終了（平成12年度武三保組合承継分等）の減はあるものの、据置期間が経過し、元金の返済（北町さくら緑地・境山野緑地用地買収等）が開始されることにより、700万円、0.3%の増となった。

諸支出金

行政目的の定まっていない経費

金利の低下により土地開発公社借入金利子補給分の補助金が減少し、4,700万円、24.5%の減となった。

②性質別分類

性質別分類は、経済的性質を基準として分類するもので、義務的経費、投資的経費等に分けられる。

(単位：千円)

区分	平成23年度 予算額 (A)	平成22年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)		
					23年度	22年度	
義務的経費	人件費	10,035,929	11,624,615	△ 1,588,686	△ 13.7	17.7	20.4
	扶助費	11,460,224	10,637,126	823,098	7.7	20.2	18.7
	公債費	2,606,432	2,599,370	7,062	0.3	4.6	4.6
小計	24,102,585	24,861,111	△ 758,526	△ 3.1	42.5	43.7	
物件費	14,056,565	13,580,248	476,317	3.5	24.7	23.9	
補助費等	6,097,987	5,826,942	271,045	4.7	10.7	10.2	
繰出金	4,984,068	4,421,489	562,579	12.7	8.8	7.8	
投資的経費	6,762,631	7,367,922	△ 605,291	△ 8.2	11.9	12.9	
その他	826,164	882,288	△ 56,124	△ 6.4	1.4	1.5	
計	56,830,000	56,940,000	△ 110,000	△ 0.2	100.0	100.0	

※ 義務的経費とは、歳出のうち、支出が義務付けられており任意に削減できない経費で、一般的に人件費・扶助費・公債費の合計額をさす。

人件費

報酬、給料、職員手当、共済費、恩給及び退職年金などの経費

議員年金廃止に伴う議員共済費負担金1億1,400万円や子ども手当1,100万円の増はあるものの、財団への職員派遣による80名の人員減等により、職員給が4億2,500万円、期末勤勉手当が2億4,100万円の減、また退職手当7億4,700万円の減などにより、15億8,900万円、13.7%の減となった。

扶助費

生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて支給する経費

児童手当9,400万円の減はあるものの、子ども手当5億7,800万円、民間保育所運営費3億4,100万円、生活保護法による扶助事業費1億6,700万円、障害者自立支援給付費1億3,500万円の増などにより、8億2,300万円、7.7%の増となった。

公債費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

過年度分の償還終了（平成12年度武三保組合承継分等）の減はあるものの、据置期間が経過し、元金の返済（北町さくら緑地・境山野緑地用地買収等）が開始されることにより、700万円、0.3%の増となった。

物件費

賃金、旅費、交際費、消耗品費、役務費、備品購入費、委託料、使用料などの経費

ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス備品購入費 1億1,400万円、図書館電算処理委託料 1億400万円などの減があるものの、給食調理業務委託料 4億9,600万円、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス管理運営委託料 4億3,600万円、子宮頸がん等ワクチン接種委託料 1億3,800万円などの増により、4億7,600万円、3.5%の増となった。

補助費等

市民や各種団体などに対する補助金などの経費

災害拠点病院機能向上費補助金 1億5,000万円、社会福祉法人武蔵野運営費補助金5,500万円などの減があるものの、子ども協会保育園事業補助金 1億5,900万円、消防事務委託料5,800万円、日中活動系サービス推進事業補助金8,700万円の増などにより、2億7,100万円、4.7%の増となった。

繰出金

一般会計と特別会計相互間で支出される経費

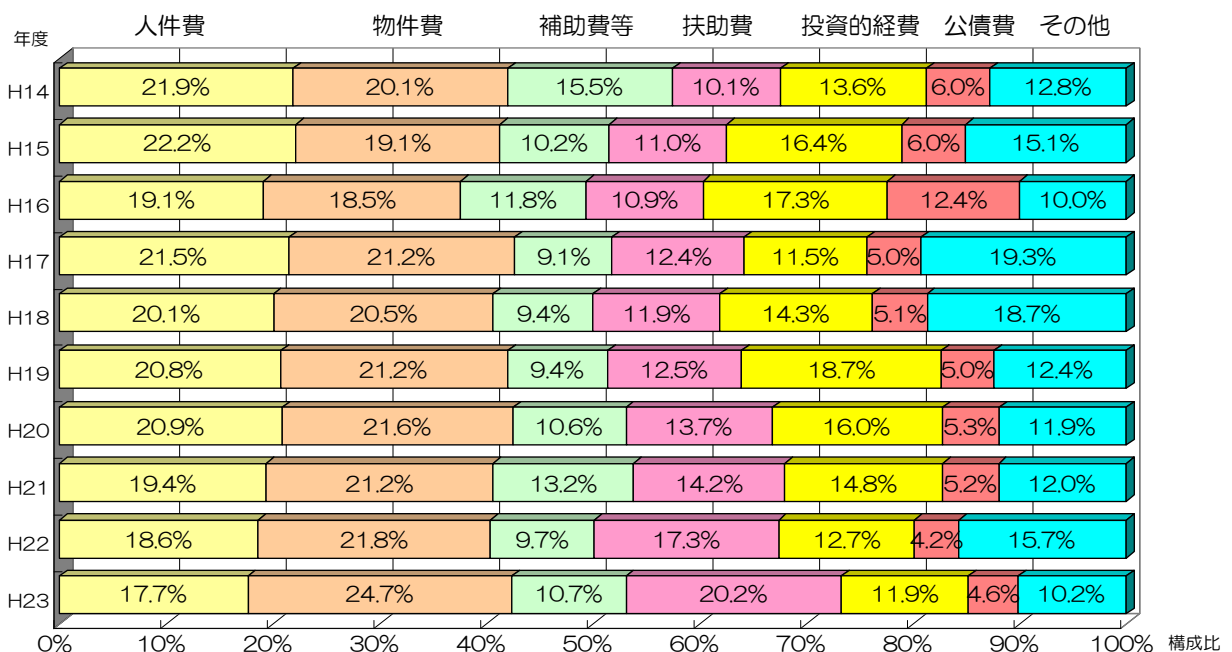
国民健康保険事業会計への3億6,200万円、後期高齢者医療会計への7,500万円、介護保険事業会計への7,000万円、下水道事業会計への6,000万円のそれぞれ増により、5億6,300万円、12.7%の増となった。

投資的経費

道路、公園、学校、文教施設など公共施設の建設、用地購入等に要する経費

小中学校空気調和設備設置工事費 9億4,700万円、公園用地購入費 4億9,900万円、総合体育館改修工事費 2億900万円の増はあるものの、ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設工事費26億9,500万円、自転車駐車場建設負担金 2億7,200万円などの減により、6億500万円、8.2%の減となった。

性質別の構成比の推移



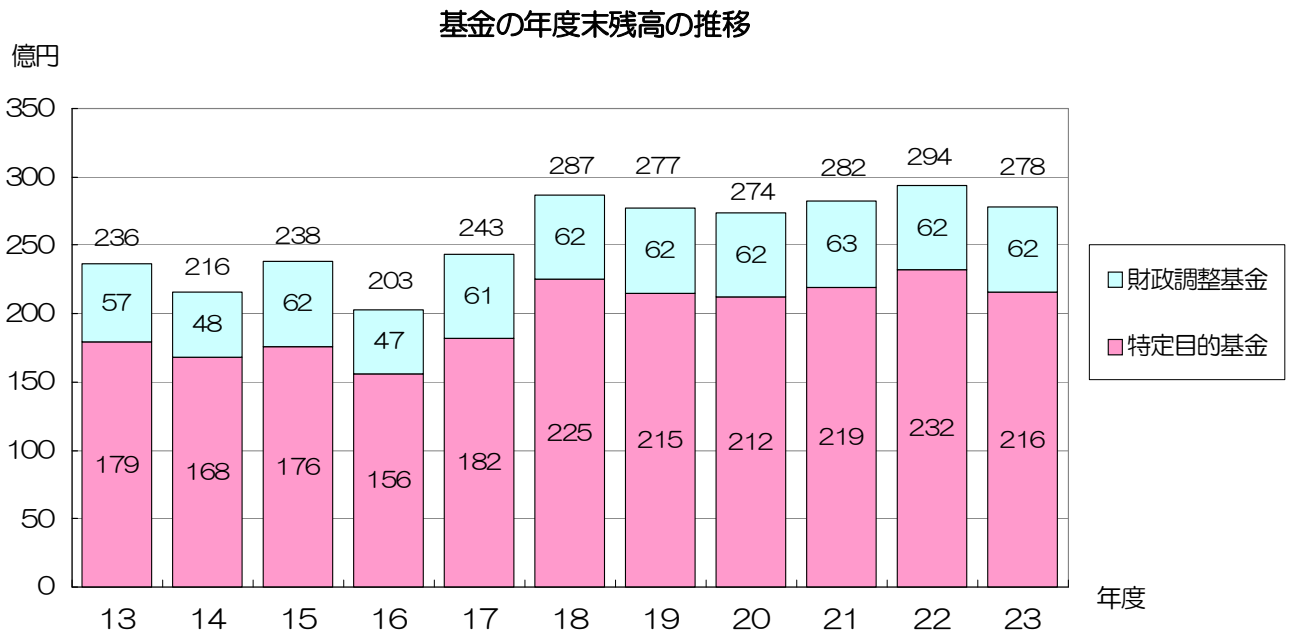
※ 平成21年度までは決算額、平成22年度は補正後の予算額、平成23年度は当初予算額である。

(3) 基金と市債

○基金の状況

平成23年度の基金取崩予算額は16億5,900万円、利子収入による積立金は5,200万円、平成23年度末の基金残高は、前年から16億700万円減少し、277億9,500万円の見込みとなる。

特定目的基金とは、地方自治体が条例の定めるところにより、学校をはじめ公共施設の建設など特定の目的のために、財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けるものである。また、財政調整基金とは、各年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るためのものである。なお、平成23年度に基金を充てるおもな事業は、八幡町コミュニティセンター建設事業（公共施設整備基金）、小中学校空気調和設備設置工事（学校施設整備基金）、仙川水辺環境整備事業（公園緑化基金）、鉄道連続立体交差事業（鉄道連続立体交差化整備基金）などである。



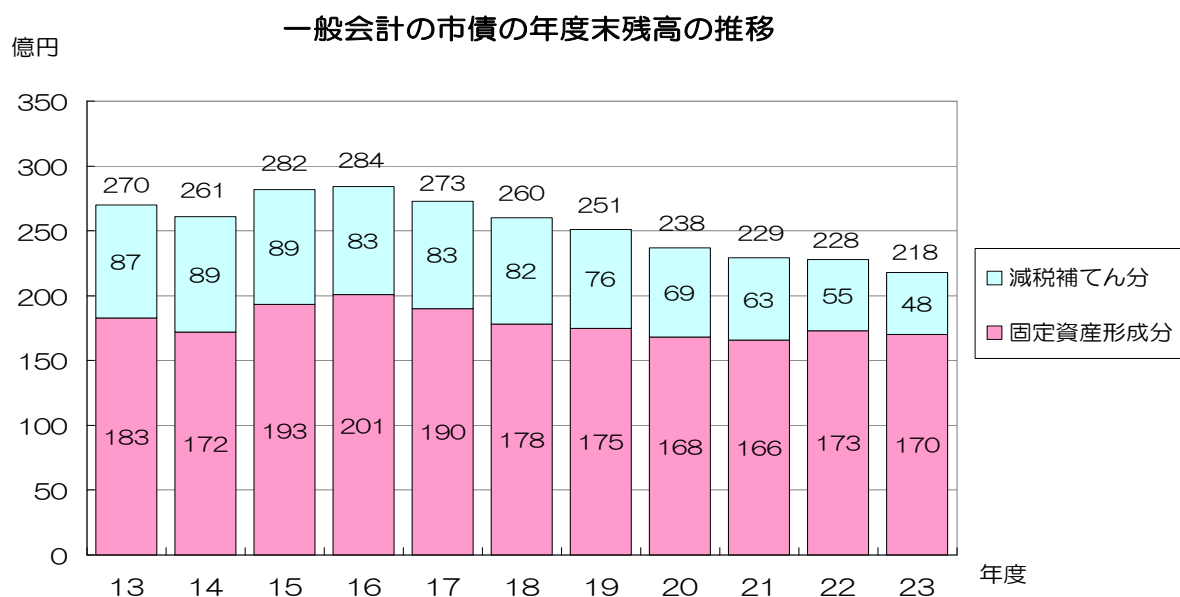
(単位: 千円)

区 分		21年度末残高	22年度末残高 見込み	23年度末残高 見込み	23年度増減 見込み
財 政 調 整 基 金		6,260,368	6,182,288	6,189,692	7,404
特 定 目 的 基 金	公共施設整備基金	7,223,470	7,677,650	6,999,048	△ 678,602
	学校施設整備基金	5,949,389	6,578,195	6,232,191	△ 346,004
	吉祥寺まちづくり基金	2,636,915	2,695,454	2,646,490	△ 48,964
	公園緑化基金	3,833,099	3,807,553	3,651,782	△ 155,771
	その他の特定目的基金	2,260,607	2,460,879	2,075,767	△ 385,112
合 計		28,163,848	29,402,019	27,794,970	△ 1,607,049

○市債残高の状況

平成23年度末の一般会計市債残高見込みは、前年から9億5,000万円減少し、218億4,200万円となる。うち減税補てん債は48億1,700万円。

市債（地方債）とは、地方自治体が必要な財源を調達するために負う債務で、その履行が一会計年度を越えて行われるものであり、証書借入れ又は証券発行の形式をとる。また、減税補てん債とは、地方税の特別減税などによる減収額を補てんするため、特例として認められる市債で、平成18年度に廃止された。なお、市債は、市有施設などの建設にあたり資金の借入れを行い、その後5年から25年かけて返済していくことにより、建設時点の市民だけでなくその施設を利用する次の世代の市民にも負担を求めるといった政策的な観点より、世代間の公平を保つための方法として位置付けられている。



特別会計等を含めた借入金残高一覧表

(単位：千円)

会計区分	19年度末残高	20年度末残高	21年度末残高	22年度末残高 見込み	23年度末残高 見込み
一般会計	25,052,399	23,791,841	22,881,273	22,791,879	21,841,917
下水道事業会計	3,473,833	3,566,735	3,591,141	4,249,385	4,537,960
介護保険事業会計	5,386	0	0	0	0
土地開発公社	8,705,000	11,275,000	9,761,063	7,465,464	8,556,924
合計	37,236,618	38,633,576	36,233,477	34,506,728	34,936,801

5 複数年度にわたる建設事業

※平成24年度以降の予定額は現時点での概算額

◎庁舎給排水管等改修事業（管財課）

（単位：千円）

総事業費		514,800		
年 度	23 予算額	24 予定額	計	
事業費	280,180	234,620	514,800	
内 訳	委託料	5,180	9,620	14,800
	工事請負費	275,000	225,000	500,000
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金			
	都支出金			
	市 債	206,200	168,700	374,900
	基金繰入金	70,000		70,000
	一般財源	3,980	65,920	69,900

**◎八幡町コミュニティセンター建設事業
(市民協働推進課)**

(単位：千円)

総事業費		240,561			
年 度	22 決算見込額	23 予算額	24 予定額	計	
事業費	16,657	123,104	100,800	240,561	
内 訳	委託料	16,657	13,000	4,300	33,957
	工事請負費		109,900	86,450	196,350
	備品購入費			10,000	10,000
	土地購入費				
	その他		204	50	254
上 記 の 財 源	国庫支出金				
	都支出金				
	市 債		82,400	64,800	147,200
	基金繰入金		20,000		20,000
	一般財源	16,657	20,704	36,000	73,361

◎鉄道連続立体交差事業（まちづくり推進課）

（単位：千円）

総事業費		4,953,194						
年 度		7 決算額	8 決算額	9 決算額	10 決算額	11 決算額	12 決算額	13 決算額
事業費		14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435	82,965
内訳	負担金	14,303	65,266	86,467	115,607	115,632	152,435	82,965
上記の財源	市 債		63,000	85,900	109,600	98,000	140,000	73,700
	基金繰入金							
	一般財源	14,303	2,266	567	6,007	17,632	12,435	9,265

年 度		14 決算額	15 決算額	16 決算額	17 決算額	18 決算額	19 決算額	20 決算額
事業費		158,248	430,399	363,005	504,194	563,873	477,145	311,177
内訳	負担金	158,248	430,399	363,005	504,194	563,873	477,145	311,177
上記の財源	市 債	152,000	354,000	326,000				
	基金繰入金				500,000	400,000	477,145	280,000
	一般財源	6,248	76,399	37,005	4,194	163,873	0	31,177

年 度		21 決算額	22 決算見込額	23 予算額	24 予定額	25 予定額	計
事業費		329,901	279,191	189,282	357,052	357,052	4,953,194
内訳	負担金	329,901	279,191	189,282	357,052	357,052	4,953,194
上記の財源	市 債						1,402,200
	基金繰入金	280,000	260,000	180,000	350,000	320,000	3,047,145
	一般財源	49,901	19,191	9,282	7,052	37,052	503,849

◎都市計画道路3・4・27号線事業（道路課）

（単位：千円）

総事業費		22,700		
年 度	22 決算見込額	23 予算額	計	
事業費	7,200	15,500	22,700	
内 訳	委託料			
	工事請負費	7,200	15,500	22,700
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金			
	都支出金			
	市 債			
	基金繰入金			
	一般財源	7,200	15,500	22,700

**◎ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス建設事業
(生涯学習スポーツ課)**

※平成23年3月までは武蔵野プレイス開設準備室

(単位：千円)

総事業費		7,165,854			
年 度		17 決算額	18 決算額	19 決算額	20 決算額
事業費		28,592	10,682	2,609,349	497,826
内 訳	委託料	28,592	9,452	60,512	100,682
	工事請負費				396,477
	備品購入費				52
	土地購入費			2,548,837	
	その他		1,230		615
上 記 の 財 源	国庫支出金			854,951	278,859
	都支出金				
	市 債				
	基金繰入金			1,700,000	100,000
	一般財源	28,592	10,682	54,398	118,967

年 度		21 決算額	22 決算見込額	23 予算額	計
事業費		1,150,478	2,825,359	43,568	7,165,854
内 訳	委託料	62,097	60,086		321,421
	工事請負費	1,039,615	2,511,692	43,568	3,991,352
	備品購入費	48,000	233,393		281,445
	土地購入費				2,548,837
	その他	766	20,188		22,799
上 記 の 財 源	国庫支出金	55,320	5,000	4,000	1,198,130
	都支出金		90,000		90,000
	市 債	731,000	1,600,000		2,331,000
	基金繰入金	180,000	600,000		2,580,000
	一般財源	184,158	530,359	39,568	966,724

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金（まちづくり交付金）、都支出金は市町村総合交付金。

※管理運営経費を除く建設事業費のみ記載。境南ふれあい広場公園（緑化環境センター）を含む。

**◎合流式下水道改善事業（吉祥寺ポンプ場跡地）
（下水道課）**

（単位：千円）

総事業費		843,683		
年 度		23 予算額	24 予定額	計
事業費		480,868	362,815	843,683
内 訳	委託料	480,868	362,815	843,683
	工事請負費			
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金	150,000	150,000	300,000
	都支出金	7,500	7,500	15,000
	市 債	300,000	200,000	500,000
	基金繰入金			
	一般財源	23,368	5,315	28,683

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金、都支出金は市町村下水道事業都費補助金。

6 特徴ある事業

目 次

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実	
○安心して暮らし続けられるまちへ	23
○住み慣れた地域での生活を続けるために	24
○誰もが安心して暮らすために	25
○市民の健康を守るために	26
2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実	
○子育てをしっかりとサポート	27
○保育事業を拡充します	28
○豊かな学びを支える学習環境の整備	29
○いよいよ7月オープン！武蔵野プレイス	30
3 持続可能な環境共生都市づくり	
○地球温暖化対策のために	31
○地球環境・周辺環境に配慮したクリーンセンターを建設します	32
○雨に強いまちづくり	33
○緑と水に親しむまち	34
4 活力ある都市を目指して	
○地域経済の活性化と農業の振興	35
5 安全・安心なまちづくり	
○繁華街における安全・安心対策と防災対策の充実	36
○「武蔵野で暮らしたい」を応援	37

6 市民文化の創造へ向けて	
○平和の尊さを次世代につなぐ	38
○羽ばたけアスリート！	39
7 新たなまちづくりの時代へ	
○美しい街並みを形成します	40
○歩いて楽しいまち・吉祥寺	41
○中央地域の特性を生かしたまちづくり	42
○武蔵境の南北一体のまちづくり	43
8 都市のリニューアルの推進	
○ライフラインの整備	44
○交通の利便性を向上します	45
9 市民との協働時代へ向けての取組み	
○地域の力を生かすために	46
○ホームページをより使いやすく	47
10 健全な財政運営と市役所改革の推進	
○計画的で効率的な行政運営	48

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

安心して暮らし続けられるまちへ

保健・医療・福祉施策のさらなる連携を図り、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを推進する。

◎ 健康福祉総合計画・地域福祉活動計画の策定

予算額 9,762 千円

今後6年間を見通し、平成24年度を始期とする地域福祉計画、高齢者福祉計画・介護保険事業計画、障害福祉計画、健康推進計画を一体的に「健康福祉総合計画」として策定する。また、市民社会福祉協議会が地域福祉活動の指針として定める、第3次地域福祉活動計画の策定を支援する。



担当：地域福祉計画：健康福祉部生活福祉課

☎0422-60-1848

高齢者福祉計画・介護保険事業計画：健康福祉部高齢者支援課

☎0422-60-1940

障害福祉計画：健康福祉部障害者福祉課

☎0422-60-1904

健康推進計画：健康福祉部健康課

☎0422-51-0700

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

住み慣れた地域での生活を続けるために

高齢者やその家族が住み慣れた地域で安定した生活を送れるよう、在宅介護の支援や地域の支援体制づくりを行う。

1 家族介護支援事業

予算額 19,350 千円

在宅で高齢者を介護している家族が、介護方法や介護者の健康づくりなどについての知識や技術を高められるように支援する。また、介護家族の交流・情報交換の機会を提供し、介護家族の身体的・精神的負担の軽減を図り、要介護高齢者との安定した在宅生活が営めるよう支援を行う。

- ① 家族介護用品支給事業
- ② 家族介護慰労金
- ③ 家族介護支援事業
- ④ 徘徊探索システム事業

2 認知症高齢者支援事業

予算額 12,168 千円

認知症啓発事業や認知症相談事業を実施し、認知症の理解を深める活動を推進する。また、認知症高齢者見守り支援事業により認知症高齢者と介護する家族を支援していく。

- ① 認知症啓発・普及事業（認知症サポーター養成講座、認知症を知る月間）
- ② 認知症相談事業
- ③ 認知症高齢者見守り支援事業



認知症を知るキャンペーン▶
(平成22年9月)

担当：健康福祉部高齢者支援課
☎0422-60-1846

1 市民の健康増進及び高齢者・障がい者を守る福祉の充実

誰もが安心して暮らすために

障がいのある方が地域で安心して生活を送れるよう、支援体制の強化を行う。

1 療育推進事業の支援体制の強化

予算額 84,564 千円

みどりのこども館の「地域療育相談室ハビット」において、心身の発達が気になる子どもと保護者のための相談事業を行っている。平成23年度より、臨床心理士を増員し、早期に適切な療育支援が受けられるよう、体制の強化を行う。また、個別相談や親子通園事業の充実、保育園や幼稚園、小学校などへの施設巡回相談の希望増加への対応を図る。



▲ハビットの療育支援の様子

2 障害者自立支援法に基づく通所施設の運営支援

予算額 110,724 千円

市内の障害者自立支援法に基づく通所施設の運営費の一部を補助し、市内在住の障がい者が日中に活動できる場所やサービスを確保しやすくする。

○障害者日中活動系サービス推進事業補助

障害者自立支援法に基づく日中活動系サービス(通所施設)の運営に要する経費を一部補助する。既存の補助制度より対象を拡大し、市内15事業所を予定している。

○障害者通所施設家賃補助

障害者通所施設9事業所(予定)賃借料の一部を補助する。

○第三者評価受審費補助

障害者通所施設が第三者機関の評価を受けることにより、サービスの質の向上を図る。

担当：健康福祉部障害者福祉課
☎0422-60-1904

市民の健康を守るために

乳幼児が罹患すると重篤な症状を引き起こす細菌性髄膜炎の予防と、若い女性に増えている子宮頸がん予防のため、3種類の予防接種に対し、その接種費用の助成を行う。また、女性特有のがん（子宮頸がん・乳がん）の検診受診率を向上させ、がんの早期発見とがん予防の啓発を行う。

1 予防接種公費助成

予算額 141,562 千円

市内指定医療機関で予防接種をする場合、費用の約9割を助成する。

①インフルエンザ菌b型(Hib)ワクチン

接種対象者:2カ月以上5歳未満の乳幼児 接種回数:4回まで

②小児用肺炎球菌ワクチン

接種対象者:2カ月以上5歳未満の乳幼児 接種回数:4回まで

③子宮頸がん予防(HPV予防)ワクチン

接種対象者:中学1年生(13歳相当)から高校1年生(16歳相当)の女子
接種回数:3回



2 女性特有のがん検診推進

予算額 30,083 千円

特定の年齢に達した女性に、子宮頸がんと乳がんに関する検診手帳と市内指定医療機関等で使用できるクーポン券を送付する。

①子宮頸がん検診 20・25・30・35・40歳の女性

②乳がん検診 40・45・50・55・60歳の女性

担当：健康福祉部健康課

☎0422-51-0700

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

子育てをしっかりとサポート

子どもたちの心身ともに健やかな育成を図るため、地域子ども館「あそべえ」と連携して土曜日に学童クラブを試行的に開所するほか、「子ども家庭支援センター」を設置し、子育て家庭への支援体制を充実する。また、緊急待機児対策として、賃貸物件を活用したグループ保育事業を実施する。

1 学童クラブ土曜日開所試行

予算額 16,025 千円

地域子ども館と連携・協力しながら、学童クラブを土曜日も試行的に開所し、保護者の就労などにより土曜日の監護が必要な小学校低学年児童を受け入れる。運営方法について地域子ども館と各こどもクラブとの協議が整い次第、順次実施する。

- ・開所日：毎週土曜日（年末・年始および祝日を除く）
- ・実施場所：地域子ども館および学童クラブ育成室



▲学童クラブの様子

2 子ども家庭支援センターの設置

予算額 33,470 千円

ひとり親家庭を含めた家庭への相談体制と地域の子育て支援をさらに充実させるため、子育てSOS支援センターを改組し、子ども家庭支援センターを設置する。センターを核に相談事業、産前・産後支援ヘルパー事業などの実施、子育て支援ネットワークの各機関との連携を進め、子育てに不安を持つ家庭への支援を行う。

3 賃貸物件を活用した 緊急待機児対策事業

予算額 29,700 千円

待機児解消に向けた緊急対策として、UR都市機構の協力のもと、賃貸物件を活用したグループ保育事業を試行実施する。

担当：1	子ども家庭部児童青少年課	☎0422-60-1853
2	子ども家庭部子ども家庭課	☎0422-60-1850
3	子ども家庭部保育課	☎0422-60-1854

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

保育事業を拡充します

保育事業などの子育て支援を充実させるために、施設整備や保育体制の整備を進める。

1 境こども園（仮称）実施設計 ほか補助事業

予算額 123,534 千円

市立境幼稚園の発展的解消に伴う認定こども園の新規開設のため、設置・運営主体となる武蔵野市子ども協会に対して、施設実施設計および建設工事経費と職員体制整備経費の補助を行う。

2 待機児童解消（定員増）及び水害 対策としての北町保育園改築事業

予算額 66,521 千円

待機児童の解消および水害対策として、北町保育園を移転・改築するため、設置・運営主体となる武蔵野市子ども協会に対して、施設実施設計および建設工事経費の補助を行う。

3 子ども協会立保育園 （千川、北町）運営事業

予算額 504,047 千円

平成23年度から千川、北町の2保育園の設置・運営主体を武蔵野市子ども協会に移管することに伴い、施設の運営、各保育事業、その他管理に関する経費の委託と補助を行う。



担当：子ども家庭部保育課

☎0422-60-1854

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

豊かな学びを支える学習環境の整備

今後も猛暑が予想されるため、学習環境の整備と児童・生徒・教職員の健康に配慮し、すべての市立小中学校に空調設備を設置する。また、新しい学校図書館システムを導入して、児童生徒の言語活動や読書活動を充実させるほか、新学習指導要領をふまえ、小学校高学年の理科教育の充実と外国語活動のスムーズな実施を目指す。

1 小中学校空調設備設置事業

予算額 960,000 千円

すべての市立小中学校(設置済みの千川小学校を除く小学校11校、中学校6校)の普通教室および特別教室の一部などに、「ガスヒートポンプ方式(※)」の空調設備を設置する。夏季休業期間に工事を行い、9月から使用する。

※ガスヒートポンプ方式

…ガスを熱源としてエンジンを駆動し、熱交換した冷媒を循環させることで冷暖房を行う方式。

2 学校図書館システム更改

予算額 6,267 千円

市立小中学校全18校の学校図書館システムを入れ替え、蔵書のデータをリアルタイムで取得可能にし、蔵書管理を効率的に行えるようにする。

3 外国語指導助手と理科専科教員の充実

予算額 18,757 千円

① 外国語指導助手の配置

小学校の外国語活動をサポートする外国語指導助手を、市立小学校全12校に、1学級につき35時間配置する。

② 理科専科教員の配置

中学校の学習への円滑な移行を図るため、高学年の理科の授業を行う専科教員を、市立小学校10校(教員の加配により対応済みの2校を除く)に、1校につき70時間配置する。

担当：1 教育部教育企画課 ☎0422-60-1895
2・3 教育部指導課 ☎0422-60-1897

2 子育てしやすい環境及び教育環境の充実

いよいよ7月オープン！ 武蔵野プレイス

1 武蔵野プレイス開館

予算額 510,177 千円

用地取得から13年、着工から2年半を経て、7月上旬に、武蔵境駅南口に新しいタイプの公共施設「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」を開館する。「図書館」をはじめ「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」の4つの機能を併せ持ち、さまざまな活動を通して人々が交流できる場(プレイス)となる。

【施設概要】

所在地：境南町2-3-18

開館時間：午前9時30分～午後10時

階数：地上4階、地下3階

面積：(敷地面積)2166.20㎡、(延床面積)9809.76㎡

管理運営：財団法人武蔵野生涯学習振興事業団が指定管理者として運営



▲武蔵野プレイス

2 境南ふれあい広場公園整備

予算額 43,568 千円

武蔵野プレイスの北側に約2,000㎡の都市公園を整備する。中央に芝生広場があり、周囲には樹々を配置し、周辺の並木とも一体感を持たせた憩いの空間となる。周囲のどこからでもアプローチでき、地域の賑わいの拠点としての機能も兼ね備える。

担当：1 教育部武蔵野プレイス開設準備室 ☎0422-60-1943
(平成23年4月～教育部生涯学習スポーツ課 ☎0422-60-1902)
2 都市整備部緑化環境センター ☎0422-60-1863

3 持続可能な環境共生都市づくり

地球温暖化対策のために

施設の設備更新において環境面に配慮した機器類を導入し、温室効果ガス削減に努めるとともに、環境意識の啓発に役立てる。

1 公共施設省エネ改修事業

予算額 13,000 千円

- 市庁舎1階ロビーの照明を水銀灯照明からLED照明へ更新する。
- 既存機器のインバーター化により、公共施設の省エネ化を図る。

2 太陽光発電設備設置事業

予算額 40,147 千円

第二中学校校舎屋上などに、太陽光発電設備を設置し、電気使用量および温室効果ガス排出量の削減を図るとともに、環境意識の啓発に役立てる。



▲平成21年度に設置された第二小学校の太陽光発電設備

担当：環境生活部環境政策課

☎0422-60-1841

3 持続可能な環境共生都市づくり

地球環境・周辺環境に配慮した クリーンセンターを建設します

現在のクリーンセンターが耐用年数を迎えることから、平成29年度稼働を目標に、安全で安定的なごみ処理が継続できるよう新施設を建設する。

1 新武蔵野クリーンセンター（仮称） 建設事業

予算額 148,378 千円

市民、学識経験者などが参加する「施設基本計画策定委員会」の提言を基に、施設基本計画を策定し、施設基本設計や生活環境影響調査を進めるほか、「施設・周辺整備協議会」の提言による新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備の方向性について、引き続き、周辺住民の方々の意見を取り入れながら、具体化を図っていく。

また、新武蔵野クリーンセンター（仮称）の建設は全市民の問題であるため、クリーンセンターやごみ処理問題に関する啓発イベントなどを実施する。



▲ 「CLEANFES むさしのエコライフ」で施設見学会を実施（平成22年11月）

2 クリーンセンター周辺道路整備

予算額 43,000 千円

クリーンセンター周辺整備の一環として、平成22年度の市道第41号線NTT研究開発センタ側歩道整備に引き続き、緑町コミセン前から市営プール前交差点にかけての歩道を新設し（幅員約2m、延長約200m）、エコセメント製のインターロッキングブロックによる景観舗装を行う。

担当：環境生活部クリーンセンター ☎0422-54-1221

3 持続可能な環境共生都市づくり

雨に強いまちづくり

近年増大している都市型集中豪雨による浸水被害の予防と軽減、地下水涵養^{かんよう}など総合的な雨水対策の一環として、透水性舗装による道路整備事業や雨水流出抑制施設の設置を進める。

1 環境舗装事業

予算額 167,700 千円

透水性舗装を市全域の生活道路を対象に実施する。平成23年度は14路線(約10,000m²)を予定。



▲透水性舗装と通常舗装の比較

2 雨水流出抑制事業

予算額 20,000 千円

雨水流出抑制に効果的な雨水浸透ますなどの設置費用について、助成金を交付する。これまでも新規・既存住宅に対して助成を行ってきたが、平成23年度からは、既存住宅での対策を推進するため、助成を増額する。

担当：1 都市整備部道路課 ☎0422-60-1861
2 都市整備部下水道課 ☎0422-60-1868

3 持続可能な環境共生都市づくり

緑と水に親しむまち

緑の拠点として公園・緑地を整備し、緑化の推進と緑のネットワーク化を図る。また、生態系に配慮した水辺空間の保全・再生により、緑豊かな住環境を整備する。

◎ 緑と水のネットワーク事業

予算額 1,673,158 千円

<緑の拠点>

はなもみじ公園(吉祥寺北町2-20)などの施設整備および吉祥寺北緑地(吉祥寺北町1-23)などの用地買収により公園の拡充を行う。

<水辺環境>

市内唯一の一級河川である仙川を自然護岸の環境に整備するため、設計・施工・維持管理を行う。

千川上水については、より魅力ある空間を創出するため、散策路等の詳細設計を実施する。



担当：都市整備部緑化環境センター

☎0422-60-1863

4 活力ある都市を目指して

地域経済の活性化と農業の振興

地域経済の活性化を図るため、商店街の企画提案型補助金を創設するとともに、商工会議所建設業部会による住まいの相談、事業者を紹介する小冊子の作成を支援する。また、登録農地育成事業やこうのとりベジタブル事業を始めとした市内農業の振興施策を引き続き実施していく。

1 商店街活性化のための 企画提案型補助金の創設

予算額 6,000 千円

商店街の活性化と商店会の組織力の強化のため、それぞれの地域の特性に合った事業を実施できるよう、企画提案型補助金を創設する。単独または複数の商店会が共同で行う商業活性化に資する事業の企画を募り、補助事業審査会による審査で補助を決定する。

2 商工会議所建設業部会小冊子作成 事業補助金（商工会議所）

予算額 800 千円

市内建設事業部門の活性化を図るため、商工会議所建設業部会の小冊子作成を支援する。住宅建設に関する技術などを市民に広報することで、市内事業者の受注機会の向上を図る。

3 農業振興施策の継続実施

予算額 14,284 千円

平成 22 年度に改定した武蔵野市農業振興基本計画に基づき、登録農地育成事業やこうのとりベジタブル事業、フレッシュサラダ作戦事業などの様々な農業施策を実施し、市内農業の振興を図る。

担当：1・2 環境生活部生活経済課	☎0422-60-1832
3	☎0422-60-1833

5 安全・安心なまちづくり

繁華街における安全・安心対策と 防災対策の充実

健全で魅力ある繁華街であり続けるために安全・安心対策を進めるとともに、防災対策の一層の推進を図り、安心して生活できるまちづくりを行う。

1 繁華街における安全・安心改善事業

予算額 16,000 千円

吉祥寺駅周辺の治安維持と環境浄化推進のため、警察や関係者と連携し、防犯カメラの設置、環境浄化パトロールの実施、環境浄化イベントの開催などを行う。

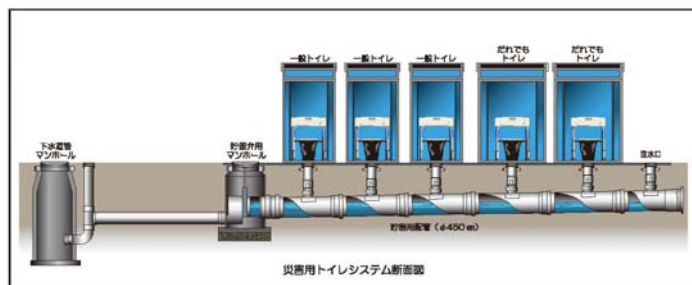
吉祥寺駅周辺で行った歳末特別環境浄化
推進パトロール(平成22年12月)▶



2 災害用トイレの整備

予算額 18,700 千円

震災時にライフラインの途絶などにより不足するトイレ対策として、災害用トイレを整備し避難所機能の充実を図る。平成23年度は大野田小学校に、下水道に直結するマンホール式の災害用トイレ10基(一般用8基・だれでもトイレ2基)を整備する。



3 消防ポンプ自動車の購入

予算額 44,000 千円

新たな排気ガス規制に適合し、消防力の強化のための機能性を高めた消防ポンプ自動車をすべての消防団に配備する。平成19年度より5カ年計画で更新を進めており、平成23年度で更新が完了する。



担当：1	防災安全部安全対策課	☎0422-60-1916
2	防災安全部防災課	☎0422-60-1821
3	〃	☎0422-60-1820

「武蔵野で暮らしたい」を応援

市内には、広い住宅に少人数で暮らす高齢者がいる一方で、ゆとりある生活環境を望む子育て中の家族などもある。

家族の状況に応じて、住み慣れた地域で最適な居住環境を得られるよう、高齢者世帯の持ち家住宅を子育て世帯などに貸し出すなど、市内での住み替えを促進するための支援について検討を行う。

◎ 住み替え支援事業

予算額 1,422 千円

住み替えをサポートする総合受付窓口を武蔵野市開発公社に設置するほか、住み替えに際し耐震改修が必要な住宅には、耐震改修費用に対する助成を増額する。

また、市内には多数の空き家があり、都市景観・防犯・防災面での問題が懸念されている。この住み替え支援事業により空き家の増加防止・有効活用の検討を図る。



担当：都市整備部住宅対策課
☎0422-60-1905

6 市民文化の創造へ向けて

平和の尊さを次世代につなぐ

市の平和施策のあり方について審議した平和施策懇談会の提言に基づき、武蔵野に初空襲のあった11月24日を「武蔵野市平和の日」として制定する等、市民とともに平和への意識を高めていくための事業に取り組む。

◎ 平和啓発事業

予算額 1,664 千円

① 平和イベント

11月24日前後に、平和や武蔵野の空襲にちなんだパネル展や講演会、コンサートなどの平和啓発イベントを開催する。



▲井の頭自然文化園彫刻館で行われた
市民平和フォーラム(平成22年11月)

② 平和案内説明板設置

平成22年度に引き続き、市内の戦争・平和に関連する場所に案内説明板を設置する。

③ 非核都市宣言平和事業

地域団体や平和団体からの委員や、公募委員で組織される非核都市宣言平和事業実行委員会により、写真パネル展などの平和啓発事業を実施するとともに、戦争体験の聞き取り調査を行う。

担当：企画政策室市民協働推進課

☎0422-60-1829

6 市民文化の創造へ向けて

羽ばたけアスリート！

平成25年に開催する第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会に向けた市民への周知・啓発事業と実行委員会などの開催を行う。また、武蔵野総合体育館メインアリーナに空調設備を設置するほか、電光掲示板や床の改修等を行い、室内環境の改善と利便性の向上を図る。

1 国民体育大会・全国障害者 スポーツ大会推進事業

予算額 1,492 千円

- ① 平成25年秋に東京都でスポーツ祭東京2013(国体・障害者スポーツ大会)が開催され、市内で4競技が実施されることを市民に周知するとともに、「おもてなしの心」で武蔵野市ならではの大会運営をするため、チラシなどを作成する。
- ② 生涯スポーツを推進させるため、国内トップアスリートによる市民参加型のイベントなどを開催する。
- ③ 市民への周知・啓発や競技の運営方法などについて協議するため、総会、常任委員会、専門委員会(4委員会)など実行委員会の会議を開催する。

市内でのバスケットボール競技の開催にちなんで
実施されたミニバスケットボール教室の様相 ▶
(平成22年10月 総合体育館)



2 総合体育館メインアリーナ等 改修事業

予算額 202,360 千円

選手や観客にとっての環境向上と第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会の円滑な運営のため、武蔵野総合体育館メインアリーナに空調設備を設置するとともに、音響設備、電光掲示板および床の改修を行う。また、床の改修はサブアリーナでも実施する。

担当：教育部生涯学習スポーツ課
☎0422-60-1903

美しい街並みを形成します

美しい景観づくりと住環境の保全のため、建物の高さ制限導入の検討、公共サインのデザインの改善、美しい道路景観の創出により、住んで・歩いて快適なまちづくりを進める。

1 都市計画高度地区変更等 高さ制限の具体化

予算額 2,620 千円

地域の実情に合わせた高さ制限について、住環境の保全や街並み形成などの観点から検討し、都市計画高度地区等による高さ制限の具体化を進める。

2 公共サインガイドライン策定

予算額 2,500 千円

公共施設までの経路を示す誘導サインなど、市が歩道等に設置・管理する歩行者用サインについて、利用者の利便性やユニバーサルデザインを考慮した統一的なサインとしていくため、デザインや構造等の基準に関するガイドラインを策定する。

3 景観道路事業

予算額 131,730 千円

美しい道路景観、歩いて楽しい道づくりや安全・安心なまちづくりを目的に、景観整備路線の事業化を図る。市道第308号線(境南町)の電線共同溝工事などを行う。



▲整備が進む市道第308号線(境南町1丁目)

担当：1・2 都市整備部まちづくり推進課 ☎0422-60-1872
3 都市整備部道路課 ☎0422-60-1855

歩いて楽しいまち・吉祥寺

吉祥寺における荷さばき対策や放置自転車対策を推進し、住民にも来街者にも歩いて楽しいまちを創造する。

1 吉祥寺方式物流対策事業

予算額 1,200 千円

吉祥寺の荷さばき対策に取り組む「吉祥寺方式物流対策委員会」に対し、その自立と継続的かつ円滑な運営に向けて支援を行う。

また、同委員会で取り組んでいる民間駐車場を活用した特定時間帯割引駐車料金適用事業や共同集配送事業などのほか、吉祥寺の荷さばき対策の具体的な施策の検討を行う。



▲吉祥寺大通り北に建設中の共同集配送場(兼駐輪場)

2 吉祥寺駅周辺自転車放置防止の強化

予算額 47,218 千円

東京都緊急雇用創出事業を活用し、吉祥寺大通りと吉祥寺通りに放置防止指導員を配置し、安全で快適な歩道環境を確保する。

3 景観道路事業（市道第2号線）

予算額 12,800 千円

(P. 40 景観道路事業の予算に含む)

美しい道路景観、歩いて楽しい道づくりや安全・安心なまちづくりを目的に、景観整備路線の事業化を図る。市道第2号線(末広通り:吉祥寺南町)において電線共同溝整備に伴う地下埋設物の移設補償などを行う。

担当：1 都市整備部吉祥寺まちづくり事務所	☎0422-21-1118
2 都市整備部交通対策課	☎0422-60-1860
3 都市整備部道路課	☎0422-60-1855

7 新たなまちづくりの時代へ

中央地域の特性を生かしたまちづくり

三鷹駅を中心とする中央地域について、商業・業務、住宅、自然のバランスのとれたまちづくりを推進し、この地域にふさわしい街並みを創出する。

1 三鷹駅北口周辺地区再整備方針の検討

予算額 500 千円

三鷹駅北口周辺地区について、商業地・業務地の機能的な配置と地域の活性化、点在する低・未利用地の適切な土地利用など、幅広い視点から再整備方針策定に向けた基本的な考え方について検討を行う。

2 三鷹駅北口駅前広場暫定整備

予算額 32,000 千円

交通動線の交錯の改善、安全性の向上及び交通バリアフリーの整備推進のため、駅前広場東側の歩道を拡幅するなどの暫定整備を行う。

3 都市計画道路7・6・1号線 (御殿山通り) 事業

予算額 123,350 千円

三鷹駅から井の頭公園へのアクセス道路として、玉川上水の景観に配慮した歩行者に優しい快適な道路整備を図る。用地買収のほか、人道橋設置に向けた橋りょうプランの検討や玉川上水の自然調査などを行う。



▲御殿山通りの整備完成後のイメージ

担当：1	都市整備部まちづくり推進課	☎0422-60-1872
2	都市整備部道路課	☎0422-60-1861
3	〃	☎0422-60-1855

武蔵境の南北一体のまちづくり

JR中央線と西武多摩川線の鉄道連続立体交差事業にあわせ、駅周辺の南北道路の整備や地域の活性化を図り、南北地域一体のまちづくりを推進する。

1 鉄道連続立体交差事業

予算額 209,763 千円

JR中央線・西武多摩川線の踏切が解消されたが、南北一体化のまちづくりと地域の活性化を図るため、引き続き実施されている鉄道連続立体交差事業費の一部を負担し、側道整備にかかる用地を取得する。

2 武蔵境駅周辺開発事業

予算額 112,617 千円

鉄道連続立体交差事業に合わせ、市の西の玄関口としてふさわしい駅前空間を創出するため、駅舎に付随する連続施設(北側)建設の詳細設計や、北口駅前広場や南北道路(市道第291号線、都道123号線)を整備する。

3 都市計画道路3・4・27号線事業

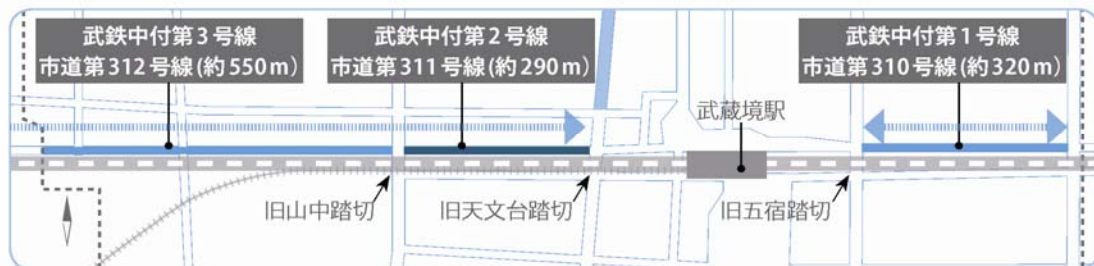
予算額 31,634 千円

鉄道連続立体交差事業に伴い、鉄道により分断されている境地区と境南地区を相互に連絡する路線を整備する。「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」の開館にあわせ、道路東側の暫定整備を行う。

4 武鉄中付第1～3号線整備事業

予算額 197,000 千円

鉄道連続立体交差事業に伴う武鉄中付第1～3号線の整備に向け、電線類地中化の詳細設計、電線共同溝の工事などを行う。



担当：1	都市整備部まちづくり推進課	☎0422-60-1872
2	都市整備部武蔵境開発事務所	☎0422-52-0151
3・4	都市整備部道路課	☎0422-60-1855

8 都市のリニューアルの推進

ライフラインの整備

公共用水域の環境保全のため、合流式下水道における河川の吐口からの越流水の対策と雨水貯留浸透施設設置を行う。また、長い期間と多額の費用が必要となる下水道施設の改築・更新を計画的・効率的に行うため、施設の現状を調査して計画を策定するとともに、災害に強いまちを目指し、上水道の耐震化を進める。

1 合流式下水道改善事業

予算額 480,868 千円

吉祥寺ポンプ場跡地(吉祥寺東町4-18)に、貯留施設(約1,200m³)を平成24年度までの2カ年で整備する。

2 雨水貯留浸透施設設置事業

予算額 55,800 千円

市立小・中学校(全18校)のうち、1校(第一小学校)に雨水貯留浸透施設を設置する。

※平成22年度末で、中学校3校、小学校6校、公園2カ所に設置。合計5,300トン分の雨水貯留浸透施設整備が完了。

3 下水道施設長寿命化計画策定

予算額 10,000 千円

下水道施設の点検・調査結果を基に、施設の延命化・ライフサイクルコストの低減・更新時期の平準化などを定めた計画を策定する。

下水道施設点検の様子▶



4 上水道耐震化工事

予算額 392,318 千円

災害時にも安全でおいしい水の安定供給ができるように、配水管を新設するほか耐震性に劣る配水管(鑄鉄管・ビニル管)を耐震性ダクタイル鑄鉄管に取り替え、配水管網を整備する。

配水管の布設替え工事の様子▶



担当：1～3 都市整備部下水道課

☎0422-60-1867～8

4 水道部工務課

☎0422-52-0735

交通の利便性を向上します

公共交通機関で普及しているICカードによる乗車システムをムーバスに導入するとともに、新たに暫定駐輪場を整備し、公共交通機関の利用促進と自転車利用者の利便性の向上を図る。

1 ムーバスへの交通ICカードの導入

予算額 38,530 千円

武蔵野市地域公共交通活性化協議会に交付される国費補助を活用し、公共交通機関が発行するICカード「スイカ」および「パスモ」での乗車を可能とするため、車載料金機、バス事業者のメインサーバの改変など整備を行う。



▲ムーバス

2 武蔵境駅周辺鉄道高架下暫定駐輪場整備

予算額 4,000 千円

武蔵境駅周辺の駐輪対策は、東日本旅客鉄道株式会社および西武鉄道株式会社と連携し取り組む。鉄道事業者から駐輪場用地を借り上げ、駅周辺の鉄道高架下に民間等専門機関を活用して約3,000台の暫定駐輪場を新たに整備し、既存の駐輪場とあわせて約4,000台の駐輪場を確保する。

担当：1	都市整備部交通対策課	☎0422-60-1859
2	〃	☎0422-60-1860

9 市民との協働時代へ向けての取組み

地域の力を生かすために

市民活動を促進するとともに、コミュニティの拠点を充実し、地域における協働とコミュニティ形成を推進する。

1 市民活動促進基本計画（仮称）の策定

予算額 5,368 千円

地域における公益的な市民活動のあり方などについて、現在のNPO活動促進基本計画に続く平成24年度からの10年間の計画を、策定委員会を設置し、市民活動団体に対する調査やパブリックコメントを実施して策定する。

2 八幡町コミュニティセンターの建替え

予算額 123,104 千円

八幡町コミュニティセンター（八幡町4-10-7）を旧千川小学校プール跡地（八幡町3丁目349-3、350）に移転・新築することで、コミュニティ活動の拠点を整備する。建築工事とそれに伴う各種調査を行う。



▲「みんなでつくろう！新八幡町コミュニティセンターワークショップ」の風景

担当：企画政策室市民協働推進課

☎0422-60-1830

ホームページをより使いやすく

利用者の視点による使いやすさ・情報の探しやすさの改善、アクセシビリティの向上、安全なシステム運営と安定した情報提供の確保などを目的に、ホームページの再構築を行う。

◎ 市ホームページ再構築事業

予算額 11,086 千円

トップページの整理、検索機能の改善を行うとともに、高齢者や障害者に配慮したコンテンツ・マネジメント・システム(CMS)への入れ替えを行う。また、不正アクセスや改ざんなどを防止するため万全なセキュリティ対策を行う。



担当：企画政策室広報課

☎0422-60-1804

計画的で効率的な行政運営

市政運営の基本指針となる第五期基本構想・長期計画の策定を行い、武蔵野市が目指すべき方向性を定めるとともに、優先すべき施策を明らかにする。また、透明性が高く、効率的で効果的な行政運営や市民サービスのための取り組みを進める。

1 第五期基本構想・長期計画の策定

予算額 13,482 千円

平成24～33年度の10年間を計画期間とする基本構想・長期計画を年度内に策定する。策定にあたっては、策定委員会(市内在住の有識者等7名、副市長2名、合計9名)を中心に、無作為抽出市民ワークショップや自由に参加できる圏域別市民会議など多様な市民参加を行う。



▲第1回無作為抽出市民ワークショップ(平成22年11月)

2 事務事業見直し・補助金見直し

削減額 259,151 千円

事務事業見直しとそれに伴う職員定数適正化の実施、補助金の見直しを行い、合わせて259,151千円の経費削減を行った。

担当：1・2(事務事業見直し) 企画政策室企画調整課 ☎0422-60-1801
2(補助金見直し) 財務部財政課 ☎0422-60-1803